

2026(令和8)年度

清泉女子大学

Seisen University

総合型選抜 入試要項

【募集学部・学科・領域】

総合文化学部 (総合文化学科)	日本文化領域	
	国際文化領域	<専攻言語:英語> <専攻言語:スペイン語>
	文化史領域	
地球市民学部 (地球市民学科)	地域共生領域	
	ソーシャルデザイン領域	

【入試制度・試験日】

◆総合型選抜(10月1期)

試験日:10月12日(日)

◆総合型選抜(10月2期)

試験日:10月26日(日)

◆総合型選抜(12月期)

試験日:12月14日(日)

目 次

■ 清泉女子大学の入学試験を受験される方へ

1. 入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)について…………… 2
2. 出願から合格発表までの流れ…………… 2
3. 受験上・就学上の特別な配慮について…………… 2

■ 総合型選抜 (10・12月)

◆ 総合型選抜の概要

1. 総合型選抜(10月1期・10月2期・12月期)選考方法一覧…………… 3
2. 総合型選抜(10月1期)で対象とする外国語検定について…………… 4
3. 募集人員…………… 5
4. 試験日程…………… 6
5. 出願資格…………… 6

【10月1期】

◆ [課題図書方式<専願制>](#)…………… 7

◆ [地球市民育成型<専願制>](#)…………… 9

【10月2期】

◆ [小論文方式<併願制>](#)…………… 10

◆ [英検換算方式<併願制>](#)…………… 11

◆ [授業体験型<併願制> \(JICA 海外・国内地域協力隊派遣優遇枠付\)](#)…………… 12

【12月期】

◆ [学費免除型・基礎学力1教科方式<併願制>](#)…………… 13

■ 出願・合格発表・入学手続きについて

◆ [出願について](#)…………… 15

◆ [合格発表・入学手続きについて](#)…………… 19

◆ [注意事項](#)…………… 22

◆ [各種お知らせ](#)…………… 24

清泉女子大学の入学試験を受験される方へ

1. 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）について

以下をご覧ください。

▶ <https://www.seisen-u.ac.jp/faculty/3policy.html>



2. 出願から合格発表までの流れ

本学公式 Web サイト (<https://www.seisen-u.ac.jp/admissions/>) よりインターネット出願専用サイトにアクセスし、出願情報の登録、および入学検定料を納付の上、出願期間内に書類を速達・簡易書留で郵送にて提出してください。

出願情報登録前に p.15 「(2) 出願上の注意事項」も合わせて確認してください。

出願の流れは次のとおりです。書類（写真・調査書等）を準備した上で、STEP1にお進みください。

【STEP1】 本学公式 Web サイトより、インターネット出願専用サイトにアクセス
※各入試制度の出願開始(Web 登録開始)日の9:00より、出願情報を登録できます。



【STEP2】 出願情報の選択・基本情報の入力・写真のアップロード

【STEP3】 入学検定料（受験料）のお支払い

【STEP4】 志願シート・宛名シート等の印刷

【STEP5】 書類の郵送（速達・簡易書留）

【STEP6】 インターネット出願専用サイト内のマイページより受験票をダウンロードおよび印刷

※受験票公開日時は、次表のとおり。

10月1期	10月8日（水）16時
10月2期	10月22日（水）16時
12月期	12月5日（金）16時

【STEP7】 受験

【STEP8】 合格発表

※合格発表日の11時にマイページにて発表

3. 受験上・就学上の特別な配慮について

疾病・負傷や身体等に障がいがあるために、受験上または入学後に特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、下記の期限までに、必ず入試課にご相談ください。疾病・負傷や障がいの状況によっては受験や就学が困難である可能性があります。また、相談内容によっては事前に面談をさせていただく場合がありますが、この面談は、特別な配慮の内容等について確認するためのものであり、合否とは一切関係ありません。

なお、期限後のお申出については受験上の特別な配慮ができない場合があります。不慮の事故等により、この申出期限や出願後に、特別な配慮が必要となった場合も、すみやかに入試課にご相談ください。

また、日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日に使用する場合も、試験場設定等の関係上、必ず事前にご相談ください。

申出期限…【10月期】2025(令和7)年7月31日(木)まで / 【12月期】9月30日(火)まで

問合せ先…清泉女子大学入試課 TEL:03-5421-3231

◆総合型選抜の概要

1. 総合型選抜（10月1期・10月2期・12月期）選考方法一覧

■ 総合型選抜（10月1期）

入試制度	学部	領域	選考方法	配点	専願/併願	試験日
課題図書方式	総合文化	・日本文化 ・文化史	・小論文(読書型)	50	専願	10/12 (日)
			・口頭式問(書類審査を含む)	50		
課題図書方式 (外国語検定加算型)		・国際文化	・小論文(読書型)	50		
			・口頭式問(書類審査を含む)	50		
地球市民育成型<専願制>	地球市民	・地域共生	・口頭式問(書類審査を含む)	100		
			・英語検定試験加算点	40		
		・ソーシャルデザイン	・口頭式問(書類審査を含む)	120		
			・英語検定試験加算点	20		

■ 総合型選抜（10月2期）

入試制度	学部	領域	選考方法	配点	専願/併願	試験日
小論文方式(※1)	総合文化	・日本文化 ・国際文化	・小論文(課題文型)	100	併願可	10/26 (日)
			・口頭式問(書類審査を含む)	100		
英検換算方式(※1・2)		・文化史	・英語検定試験換算点	100		
	・口頭式問(書類審査を含む)		100			
授業体験型<併願制> [JICA 海外・国内地域協力 隊派遣優遇枠付](※3)	地球市民	・地域共生 ・ソーシャルデザイン	・授業レポート	100		
			・口頭式問(書類審査を含む)	100		

※1 総合文化学部志望者は、「小論文方式」と「英検換算方式」とを併願することができます。可否判定は、それぞれの方式で行います。ただし、異なる領域や専攻言語を併願することはできません。

※2 英検換算方式：本学が指定する英語外部検定試験で一定のスコア(p.5「3.10月2期(英検換算方式)の出願資格および換算点」参照)を取得している場合、そのスコアに応じて換算します。

※3 JICA 海外・国内地域協力隊派遣優遇枠：10月2期授業体験型で「協力隊派遣優遇枠合格」(合格者数に応じて10名程度まで)となった場合、派遣前の学内選考において優遇措置があります。

■ 総合型選抜（12月）

入試制度	学部	領域	選考方法	配点	専願/併願	試験日
学費免除型 [基礎学力1教科方式]	総合文化 地球市民	全5領域	・基礎学力試験(1教科)	100	併願可	12/14 (日)
			・口頭式問(書類審査を含む)	50		

※このほか、総合型選抜(12月)として、高大連携協定校を対象に、高大接続型(姉妹校対象/協定校対象)の入試を実施します。

2. 10月1期 課題図書方式（外国語検定加算型）・地球市民育成型の対象とする外国語検定について

【10月1期〈専願制〉で対象とする外国語検定試験について】

英語検定試験 ^{※1} (4技能)	課題図書方式（外国語検定加算型）	地球市民育成型
	総合文化学部 ・国際文化領域	地球市民学部 ・地域共生領域 ・ソーシャルデザイン領域
実用英語技能検定(英検) ^{※2}	○	○
GTEC (Advanced または CBT) ^{※3}	○	○
TEAP ^{※4}	○	○
TEAP CBT ^{※4}	○	○
ケンブリッジ英語検定	○	○
IELTS(ペーパー版またはコンピュータ版) ^{※5}	○	○
TOEFL iBT ^{※6}	○	○
TOEIC (L&R および S&W の合計点) ^{※7}	○	○
TOEIC Bridge (L&R および S&W の合計点) ^{※7}	○	○
スペイン語検定試験 ^{※1}	総合文化学部 ・国際文化領域	
スペイン語技能検定 (西検)	○	
DELE	○	

○出願の際に、技能別のスコアが記載されている証明書等を添付してください。

○日本文化領域および文化史領域では、これらの外国語検定試験については、口頭試問の中で評価します。

※1 総合型選抜において、各スコアの有効期限は設けません。

※2 実用英語技能検定は、「S-CBT」を含みます。

※3 GTECはオフィシャルスコアに限ります。

※4 TEAP およびTEAP CBTは各受験回の合計点のみ有効、複数回受験した場合でも、各技能の最高点の合算は行いません。

※5 IELTSはアカデミック・モジュールのみ有効。ジェネラル・トレーニング・モジュールは不可とします。

※6 TOEFL iBTは、Test Date スコアのみ利用可とし、MyBest スコアの利用は不可とします。

※7 TOEIC またはTOEIC Bridge の場合、IPテストは不可とします。

3. 10月2期（英検換算方式）の出願資格および換算点

【出願資格】6ページ「■総合型選抜 全方式共通の出願資格」を満たし、かつ下表に示した英語外部検定試験の最低点（赤字の点数）をいずれか1つ以上を満たしている必要があります。

【換算点】

英語外部検定試験(4技能) ^{※1}	換算点										
	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
実用英語技能検定(英検) ^{※2}	1,700 ～ 1,759	1,760 ～ 1,819	1,820 ～ 1,879	1,880 ～ 1,939	1,940 ～ 1,999	2,000 ～ 2,059	2,060 ～ 2,119	2,120 ～ 2,179	2,180 ～ 2,239	2,240 ～ 2,299	2,300 以上
GTEC (Advancedまたは CBT) ^{※3}	680 ～ 729	730 ～ 779	780 ～ 829	830 ～ 879	880 ～ 929	930 ～ 979	980 ～ 1,029	1,030 ～ 1,079	1,080 ～ 1,129	1,130 ～ 1,179	1,180 以上
TEAP ^{※4}	135～ 152	153～ 169	170～ 187	188～ 204	205～ 221	222～ 239	240～ 256	257～ 274	275～ 291	292～ 308	309 以上
TEAP CBT ^{※4}	235～ 271	272～ 307	308～ 344	345～ 380	381～ 417	418～ 453	454～ 490	491～ 526	527～ 563	564～ 599	600 以上
ケンブリッジ 英語検定	120～ 123	124～ 127	128～ 131	132～ 135	136～ 139	140～ 143	144～ 147	148～ 151	152～ 155	156～ 159	160 以上
IELTS (ペーパー版または コンピューター版) ^{※5}	—	—	—	—	4.0	—	4.5	—	5.0	—	5.5 以上
TOEFL iBT ^{※6}	—	—	—	—	42～ 46	47～ 51	52～ 56	57～ 61	62～ 66	67～ 71	72 以上
TOEIC(L&Rおよび S&Wの合計) ^{※7}	385～ 455	456～ 526	527～ 597	598～ 668	669～ 739	740～ 810	811～ 881	882～ 952	953～ 1,023	1,024～ 1,094	1,095 ～
TOEIC Bridge(L&Rおよび S&Wの合計) ^{※7}	129～ 139	140～ 149	150～ 159	160～ 169	170 ～	—	—	—	—	—	—

※1 総合型選抜において、各スコア(4技能)の有効期限は設けません。4技能に満たない場合、利用できません。

※2 実用英語技能検定は、「S-CBT」を含みます。

※3 GTECはオフィシャルスコアに限ります。

※4 TEAPおよびTEAP CBTは各受験回の合計点のみ有効、複数回受験した場合でも、各技能の最高点の合算は行いません。

※5 IELTSはアカデミック・モジュールのみ有効。ジェネラル・トレーニング・モジュールは不可とします。

※6 TOEFL iBTは、Test Dateスコアのみ利用可とし、MyBestスコアの利用は不可とします。

※7 TOEICまたはTOEIC Bridgeの場合、IPテストは不可とします。

※ 上表の英語外部検定のほか、スペイン語検定およびDELEを対象とします。これらの級・スコア別換算点は、入試・広報部にお問い合わせください。

4. 募集人員

学部	領域	総合型選抜		
		10月1期	10月2期	12月期
		専願	併願可	併願可
総合文化	日本文化	15	16	14
	国際文化	15		
	文化史	18		
地球市民	地域共生	10	10	6
	ソーシャルデザイン	8		

※選考の結果、本学で学修する能力に満たないと判断した場合、合格者数が募集人員を下回ることもある。

※地球市民学部10月2期では、「JICA海外・国内地域協力隊派遣優遇枠」(合格者に応じて10名程度まで)を設定。

5. 試験日程

【10月1期・2期】

入試日程		10月1期	10月2期
		<ul style="list-style-type: none"> ・課題図書方式 ・課題図書方式（外国語検定加算型） ・地球市民育成型＜専願制＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文方式 ・英検換算方式 ・授業体験型＜併願制＞ [JICA海外・国内地域協力隊派遣優遇枠付]
出願期間	Web情報登録	2025/9/12(金) 9:00～10/2(木)16:00	2025/9/12(金) 9:00～10/16(木)16:00
	郵送出願	2025/9/12(金)～10/2(木)消印有効	2025/9/12(金)～10/16(木)消印有効
試験日		10/12 (日)	10/26 (日)
合格発表日		11/1(土)	
入学手続期間	第1次	11/1(土)～11/25(火)	
	第2次	11/26(水)～12/18(木)	

※10月・1期と2期は、併願可能です。1期(専願型)と2期(併願型)を受験し、両方合格した場合は、1期(専願型)での合格として扱います。ただし、10月2期の授業体験型＜併願制＞入試において「協力隊派遣優遇枠」合格となった場合、その権利は残ります。

【12月期】

入試日程		12月期
		学費免除型 [基礎学力1教科方式]
出願期間	Web情報登録	2025/10/17(金) 9:00～11/28(金)16:00
	郵送出願	2025/10/17(金)～11/28(金)消印有効
試験日		12/14 (日)
合格発表日		12/19(金)
入学手続期間	第1次	12/19(金)～2026/1/9(金)
	第2次	1/10(土)～1/26(月)

6. 出願資格について

■総合型選抜 全方式共通の出願資格

次の1)～3)のいずれかに該当する女子とします。

- 1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026(令和8)年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026(令和8)年3月修了見込みの者
- 3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者(次の①～⑥のいずれかに該当する者)および2026(令和8)年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026(令和8)年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026(令和8)年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026(令和8)年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定を含む)に合格した者および2026(令和8)年3月31日までに合格見込みの者で、2026(令和8)年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑥ 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026(令和8)年3月31日までに18歳に達する者

※出願資格 3)～⑥での出願を希望する場合は、事前の出願資格審査が必要です。【10月1期・2期】の場合は2025(令和7)年7月31日(木)までに、【12月期】の場合は9月30日(火)までに、入試課にお問い合わせください。

◆10月1期：課題図書方式〈専願制〉

1. 本入試の趣旨

読書を通じてじっくりと文章に向き合うことが得意な受験生を対象とし、事前に課題図書を指定し、その図書に関する小論文および口頭試問（書類審査を含む）で選考する。

志願者が本学の学びを十分に理解しているかを、本学の教育目標、AP（アドミッション・ポリシー）に照らし合わせ、志願者の資質、能力、個性、勉学意欲、経験、学業以外の諸活動の成果等を総合的・多面的に評価し、各領域が求める学生を選考することを目的とする。

2. 対象学部・領域

・総合文化学部 日本文化領域／文化史領域／国際文化領域

3. 出願資格

p.6の1)～3)のいずれかに該当する女子とします。

4. 選考方法・時間・配点

(1) 選考方法・時間・配点

入試方式	領域	選考方法	時間	配点	合計点
課題図書方式	日本文化 文化史	小論文（読書型）	60分	50点	100点
		口頭試問（書類審査を含む）	15～20分	50点	
課題図書方式 （外国語検定加算型）	国際文化	小論文（読書型）	60分	50点	120点
		口頭試問（書類審査を含む）	15～20分	50点	
		外国語検定試験加算点	—	20点	

(2) 各選考方法の内容

次の①～③を総合的・多面的に評価し選考します。

①小論文(60分・800字程度)

入試方式	領域	内容
課題図書方式	日本文化 文化史	事前に指定された課題図書を読み、その内容を要約させるとともに、自己の意見を記述させ、理解力、文章表現力、論理的思考力等を評価する。
課題図書方式 （外国語検定加算型）	国際文化	

※課題図書については、本学公式 Web サイトにて 2025 年 7 月 1 日公表予定のため、確認すること。

■試験日までには、以下の準備をすること。

- 1) 選んだ課題図書を読む。特に、自分が最も興味を持った章については、熟読しておくこと。
- 2) 課題図書の全体的な内容を端的に示すキーワードを2つ考える。本文中の言葉を用いても、自分で考えてもよい。ただし、本書のタイトルおよび各章のタイトルに含まれている言葉は使わないこと。

※選考日当日、課題図書の持ち込み可。ただし、書き込みや付箋がついたものや電子書籍は持ち込み不可。

②口頭試問（個人面接・1人15～20分・書類審査を含む）

志望動機や勉学以外の諸活動に関する質問とともに、以下の基礎的な知識を確認する質問を含む。

入試方式	領域	内容
課題図書方式	日本文化	日本語の文章を読み、それに関する質問
	文化史	志望理由に関連した基礎的な知識を確認する質問（日本史または世界史）
課題図書方式 （外国語検定加算型）	国際文化	日本語の文章を読み、それに関する質問 ※専攻言語：英語では、英問英答を含む

③外国語検定試験加算点（配点：20点（国際文化領域のみ*））

【対象となる英語検定試験】

- | | | |
|----------------|------------------------|----------------|
| ① 英検（S-CBTを含む） | ② GTEC（AdvancedまたはCBT） | ③ TEAP |
| ④ TEAP CBT | ⑤ ケンブリッジ英語検定 | ⑥ IELTS |
| ⑦ TOEFL iBT | ⑧ TOEIC | ⑨ TOEIC Bridge |

【対象となるスペイン語検定試験】

- | | |
|-----------------|--------|
| ① スペイン語技能検定（西検） | ② DELE |
|-----------------|--------|

*総合文化学部（日本文化領域または文化史領域）志願者が、「活動記録」として外国語検定試験の証明書・スコア表等を提出した場合、口頭試問の中で評価する。

※各外国語検定試験の詳細については、p.4「2. 10月1期 課題図書方式（外国語検定加算型）・地球市民育成型の対象とする外国語検定について」を参照すること。

(3) 試験日・試験時間割

2025（令和7）年10月12日（日）

10:00～11:00	11:30～
小論文	口頭試問

※集合時間および面接開始時間は、受験票に表示されている2次元コードより、「試験時間割」ページにアクセスし、確認すること。

◆10月1期：地球市民育成型＜専願制＞

1. 本入試の趣旨

地球市民学部は、グローバル社会が抱える課題を、自分自身に関係がある身近な問題として理解し、他者と協働しながら具体的な解決策を提示できる、強い意欲と豊かな資質を持つ学生を選考したいと考えている。

この入試制度は、高校での学びに加え、英語外部検定試験にも積極的にチャレンジしている受験生を、加算点という形で評価するとともに口頭試問（書類審査を含む）により、志願者の資質、能力、個性、勉学意欲、経験、学業以外の諸活動の成果等を総合的・多面的に評価し、地球市民学部が求める学生を選考することを目的とする。

2. 対象学部・領域

・地球市民学部 地域共生領域／ソーシャルデザイン領域

3. 出願資格

p.6の1)～3)のいずれかに該当する女子とします。

4. 選考方法・時間・配点

(1) 選考方法・時間・配点

領域	選考方法	時間	配点	合計点
地域共生	口頭試問（書類審査を含む）	15～20分	100点	140点
	英語検定試験加算点	—	40点	
ソーシャルデザイン	口頭試問（書類審査を含む）	15～20分	120点	140点
	英語検定試験加算点	—	20点	

(2) 各選考方法の内容

次の①～②を総合的・多面的に評価し選考します。

①口頭試問（個人面接・1人15～20分・書類審査を含む）

志望動機や勉学以外の諸活動に関する質問とともに、以下の基礎的な知識を確認する質問を含む。

領域	内容
地域共生	社会課題などに関する日本語の文章を読み、その内容に関する質問
ソーシャルデザイン	

②英語検定試験加算点

【対象となる英語検定試験】

- | | | |
|----------------|------------------------|----------------|
| ① 英検（S-CBTを含む） | ② GTEC（AdvancedまたはCBT） | ③ TEAP |
| ④ TEAP CBT | ⑤ ケンブリッジ英語検定 | ⑥ IELTS |
| ⑦ TOEFL iBT | ⑧ TOEIC | ⑨ TOEIC Bridge |

※各外国語検定試験の詳細については、p.4「2. 10月1期 課題図書方式（外国語検定加算型）・地球市民育成型 の対象とする外国語検定について」を参照すること。

(3) 試験日・試験時間割

- ・2025（令和7）年10月12日（日）
- ・集合時間および面接開始時間は、受験票に表示されている2次元コードより、「試験時間割」ページにアクセスし、確認すること。

◆10月2期：小論文方式＜併願制＞

1.本入試の趣旨

小論文および口頭試問（書類審査を含む）により選考する。

志願者が本学の学びを十分に理解しているかを、本学の教育目標、AP（アドミッション・ポリシー）に照らし合わせ、志願者の資質、能力、個性、勉学意欲、経験、学業以外の諸活動の成果等を総合的・多面的に評価し、各領域が求める学生を選考することを目的とする。

2.対象学部・領域

・総合文化学部 日本文化領域／国際文化領域／文化史領域

3.出願資格

p.6の1)～3)のいずれかに該当する女子とします。

4. 選考方法・時間・配点

(1) 選考方法・時間・配点

学部	選考方法	時間	配点	合計点
総合文化	小論文（課題文型）	60分	100点	200点
	口頭試問（書類審査を含む）	15～20分	100点	

(2) 各選考方法の内容

次の①・②を総合的・多面的に評価し選考します。

①小論文(60分・100点・800字程度)

学部	内容
総合文化	課題文を読み、その内容を要約させるとともに、自己の意見を記述させ、理解力、文章表現力、論理的思考力等を評価する。

②口頭試問（個人面接・1人15～20分・書類審査を含む）

志望動機や勉学以外の諸活動に関する質問とともに、以下の基礎的な知識を確認する質問を含む。

領域	内容
日本文化	日本語の文章を読み、それに関する質問
国際文化	日本語の文章を読み、それに関する質問 ※専攻言語：英語では、英問英答を含む
文化史	志望理由に関連した基礎的な知識を確認する質問（日本史または世界史）

(3) 試験日・試験時間割

2025（令和7）年10月26日（日）

10:00～11:00	11:30～
小論文	口頭試問

※集合時間および面接開始時間は、受験票に表示されている2次元コードより、「試験時間割」ページにアクセスし、確認すること。

◆10月2期：英検換算方式＜併願制＞

1.本入試の趣旨

本学が指定する英語外部検定試験の成績および口頭試問（書類審査を含む）により選考する。

志願者が本学の学びを十分に理解しているかを、本学の教育目標、AP（アドミッション・ポリシー）に照らし合わせ、志願者の資質、能力、個性、勉学意欲、経験、学業以外の諸活動の成果等を総合的・多面的に評価し、各領域が求める学生を選考することを目的とする。

2.対象学部・領域

・総合文化学部 日本文化領域／国際文化領域／文化史領域

3.出願資格

p.6の1)～3)のいずれかに該当し、かつp.5「3.10月2期（英検換算方式）の出願資格および換算点」の換算点表のうち、英語外部検定試験の最低点（赤字の点数）をいずれか1つ以上を満たしている女子とします。

4. 選考方法・時間・配点

(1) 選考方法・時間・配点

学部	選考方法	時間	配点	合計点
総合文化	英語検定試験換算点	—	100点	200点
	口頭試問（書類審査を含む）	15～20分	100点	

(2) 各選考方法の内容

次の①・②を総合的・多面的に評価し選考します。

①英検換算点

p.5「3.10月2期（英検換算方式）の出願資格および換算点」に基づき、100点満点で換算する。

②口頭試問（個人面接・1人15～20分・書類審査を含む）

志望動機や勉学以外の諸活動に関する質問とともに、以下の基礎的な知識を確認する質問を含む。

領域	内容
日本文化	日本語の文章を読み、それに関する質問
国際文化	日本語の文章を読み、それに関する質問 ※専攻言語：英語では、英問英答を含む
文化史	志望理由に関連した基礎的な知識を確認する質問（日本史または世界史）

(3) 試験日・試験時間割

2025（令和7）年10月26日（日）

11:30～
口頭試問

※集合時間および面接開始時間は、受験票に表示されている2次元コードより、「試験時間割」ページにアクセスし、確認すること。

◆10月2期：授業体験型＜併願制＞（JICA海外・国内地域協力隊派遣優遇枠付）

1. 本入試の趣旨

地球市民学部は、グローバル社会が抱える課題を、自分自身に関係がある身近な問題として理解し、他者と協働しながら具体的な解決策を提示できる、強い意欲と豊かな資質を持つ学生を選考したいと考えている。

この入試制度は、ゼミ形式による授業を体験しての授業レポート、口頭試問（書類審査を含む）により、志願者の資質、能力、個性、勉学意欲、経験、学業以外の諸活動の成果等を総合的・多面的に評価し、本学部が求める学生を選考することを目的とする。

特に選考方法においては、事前学習やゼミ形式による授業を体験することにより、入学後の地球市民学部の4年間の学びの内容やカリキュラムをイメージしながら、志願者と本学部とのマッチングを確認できる内容となっている。

2. 対象学部・領域

・地球市民学部 地域共生領域／ソーシャルデザイン領域

3. 出願資格

p.6の1)～3)のいずれかに該当する女子とします。

4. 選考方法・時間・配点

(1) 選考方法・時間・配点

入試方式	学部	選考方法	時間	配点	合計点
授業体験型＜併願制＞ (JICA海外・国内地域協力隊派遣優遇枠付)	地球市民	授業レポート	60分	100点	200点
		口頭試問（書類審査を含む）	15～20分	100点	

(2) 各選考方法の内容

次の①・②を総合的・多面的に評価し、選考する。

①授業レポート（60分・100点）

事前学習とゼミ形式による授業を踏まえて、「コンセプト（思考法・表現法）」に関する設問により、理解力、文章表現力、論理的思考力等を測り、評価する。

●事前学習：8月18日（月）から選考日までの期間、大学公式Webサイトより、地球市民学部カリキュラムの中で実際に使われる「コンセプト（思考法・表現法）」に関する解説動画を視聴し、その理解を深めるために読書等の事前学習を行うこと。

●ゼミ形式による授業（60分）：選考日の10時から60分間のゼミ形式の授業を受講すること。

②口頭試問（個人面接・1人15～20分・100点・書類審査を含む）

志望動機や勉学以外の諸活動に関する質問とともに、以下の基礎的な知識を確認する質問を含む。

・提出書類、事前学習、ゼミ形式による授業、授業レポートの内容等について質問し、学習歴、学習意欲や学部への適性を確認する。

※英語検定試験のスコアを口頭試問の中で評価します。評価点は、地域共生領域では口頭試問の配点100点満点中最大で40点までとし、ソーシャルデザイン領域では20点までとします。

(3) 試験日・試験時間割

2025（令和7）年10月26日（日）

10：00～11：00（60分）	11：30～12：30（60分）	13:00～
ゼミ形式による授業	授業レポート	口頭試問

※集合時間および面接開始時間は、受験票に表示されている2次元コードより、「試験時間割」ページにアクセスし、確認すること。

5. JICA海外・国内地域協力隊派遣優遇枠について

10月2期授業体験型で「協力隊派遣優遇枠合格」（合格者数に応じて10名程度まで）となった場合、派遣前の学内選考において優遇措置がある。

希望者は、出願書類「協力隊派遣優遇枠希望・活動記録・志望理由書」で、次の海外・国内のプログラムの希望順位を記入すること。

●海外：JICA海外協力隊派遣研修コース ●国内：国内地域おこし協力隊派遣研修コース

なお、この希望は出願時のものであり、派遣先については、入学後、学内選考の際に改めて申請する。

※派遣先の政治経済的条件の変更により、協力隊派遣が中止される場合があります。

◆12月期：学費免除型・基礎学力1教科方式〈併願制〉

1. 本入試の趣旨

1教科の基礎学力試験および口頭試問（書類審査を含む）により、選考する。
学生納付金のうちの授業料および施設費免除（全額または半額）の特典を与えることにより、学業に優れ、勉学意欲旺盛な学生に門戸を開くとともに、経済的支援を行うという趣旨のもとに設けられた入試制度である。

2. 対象学部・領域

- ・総合文化学部 日本文化領域／国際文化領域／文化史領域
- ・地球市民学部 地域共生領域／ソーシャルデザイン領域

3. 出願資格

p.6の1)～3)のいずれかに該当する女子とします。

4. 選考方法・時間・配点

(1) 選考方法・時間・配点

入試方式	領域	選考方法	時間	配点	合計点
学費免除型 基礎学力1教科方式	全5領域	基礎学力試験（1教科）	60分	100点	150点
		口頭試問（書類審査を含む）	15～20分	50点	

(2) 各選考方法の内容

次の①・②を総合的・多面的に評価して選考します。

①基礎学力試験

次の3教科のうち、いずれか1教科（地理歴史の場合、日本史または世界史）を出願時に選択する。

教科	科目
国語	現代の国語、言語文化 ※現代文および古文
英語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ
地理歴史	日本史探究または世界史探究のいずれか

②口頭試問（個人面接・1人15～20分・書類審査を含む）

志望動機や勉学以外の諸活動に関する質問とともに、志望理由に関連した基礎的な知識を確認する質問を含む。

※総合文化学部国際文化領域〈専攻言語：英語〉では、英問英答を含む。

(3) 試験日・試験時間割

2025（令和7）年12月14日（日）

学部	領域	基礎学力試験	口頭試問（個人面接）
総合文化	日本文化	10：00～11：00	11：30～
	国際文化		
	文化史		
地球市民	地域共生		
	ソーシャルデザイン		

5. 3つの合格区分・特典

(1) 3つの合格区分および特典について

- ・学費免除型・基礎学力1教科方式には、次の3つの合格区分があります。
 - ①特別奨学生合格、②奨学生合格、③一般選抜免除合格
- ・特別奨学生合格者には授業料・施設費の全額を、奨学生合格者には授業料・施設費の半額を、4年間にわたって免除します（1年ごとに資格を見直し）。

【合格者別納付金一覧】

合格者種別	入学金	授業料	施設費	実習費*	
				総合文化学部	地球市民学部
①特別奨学生合格者	○	－（全額免除）	－（全額免除）	－	○
②奨学生合格者	○	△（半額免除）	△（半額免除）	－	○
③一般選抜免除合格者	○	○（全額納付）	○（全額納付）	－	○

*実習費：地球市民学部ソーシャルデザイン領域では1年次に、地域共生領域では2年次に実習費（必修科目）として60,000円がかかります。

※学費免除（全額免除または半額免除）の対象は、授業料および施設費です。入学金および実習費は対象ではありません。

(2) 一般選抜免除合格者について

学費免除型・基礎学力1教科方式を受験し、特別奨学生または奨学生として不採用となった方のうち、奨学生に準ずる成績を修め、本学で学ぶに十分な学力と認められた方については、一般選抜を免除し、一般選抜免除合格者として取り扱います。

ただし、本学の専願型入試（総合型選抜（10月1期）や推薦入学（11月））で既に同一領域に合格している方については、特別奨学生または奨学生としての合否のみを判定し、一般選抜免除合格者としての選考は行いません。

(3) 特別奨学生および奨学生資格の見直しについて

①特別奨学生および奨学生資格の見直しは、入学後1年ごとに行われ、学業成績が優秀であれば、特別奨学生については「授業料」および「施設費」の全額が、奨学生については「授業料」および「施設費」の半額が、それぞれ次年度も免除されます。

②学業成績不良、本学学則に反する行為等があった場合には、特別奨学生または奨学生の資格を取り消します。

③特別奨学生および奨学生資格の見直しは、本学の内規に基づき行います。見直し基準の詳細については、特別奨学生および奨学生合格者に通知します。

◆出願について

1. 出願資格

p.6の1)～3)のいずれかに該当する女子とします。

2. 出願期間・出願上の注意事項

(1) 出願期間

入試制度	Web 登録期間	出願書類郵送期間
10月1期	9月12日(金)9:00～10月2日(木)16:00	9月12日(金)～10月2日(木)消印有効
10月2期	9月12日(金)9:00～10月16日(木)16:00	9月12日(金)～10月16日(木)消印有効
12月期	10月17日(金)9:00～11月28日(金)16:00	10月17日(金)～11月28日(金)消印有効

(2) 出願上の注意事項

- ①インターネット出願専用サイトで出願登録をただけでは、正式な出願とはなりません。必ず所定の出願期間内に、選択した支払い方法で入学検定料を納入し、後述「3.出願書類」を角2封筒に入れ、封筒の表面には志願シート等と一緒に印刷した「宛名シート」を貼付の上、速達・簡易書留で郵送してください。
- ②出願後の入試制度、志望領域および選択科目の変更は認められません。
- ③出願書類に不備のあるものは受理しません。また、いったん受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却いたしません。
- ④志願者情報入力時の注意事項については、p.22「1. インターネット出願時の志願者情報の入力について」でご確認ください。

3. 出願書類

【出願書類早見表(2026年度総合型選抜)】

入試区分	総合型選抜					
	10月1期		10月2期		12月期	
	専願		併願可		併願可	
	課題図書方式	地球市民育成型 <専願制>	小論文方式 英検換算方式	授業参加型 <併願制>	学費免除型・ 基礎学力1教科方式	
対象学部	総合文化	地球市民	総合文化	地球市民	総合文化	地球市民
志願シート	●	●	●	●	●	●
調査書等	●	●	●	●	●	●
志望理由書	●	—	●	—	●	—
活動記録	●	—	●	—	●	—
活動記録・志望理由書	—	●	—	—	—	●
協力隊派遣優遇枠希望・ 活動記録・志望理由書	—	—	—	●	—	—

※出願書類のうち、本学所定用紙は、本学公式 Web サイトよりダウンロードしてください。

※出願書類は入試制度ごとに必要書類を送付してください(調査書は複数の入試制度を出願する場合でも1通で構いません)。

(1) 志願シート (入学検定料納付後に、PDF ファイルを印刷)	全領域
<ul style="list-style-type: none">入学検定料の支払い完了後、システム側で入金を確認されると「支払い完了通知」のメールが届きます。本メール到着以降、マイページより志願シートを A4 普通紙にカラー印刷し、登録内容を再確認してください。志願シート印刷後、登録内容の誤りに気づいた場合は、入試課 (Tel : 03-5421-3231) までご連絡ください。	
(2) 写真(出願時にアップロード)	全領域
<ul style="list-style-type: none">上半身正面背景なしで、出願日から3か月以内に撮影したものに限りです。スナップ写真は用いないください。試験当日に眼鏡を使用する場合は、写真も眼鏡を着用したものにしてください。	
(3) 調査書等(出身高等学校長または中等教育学校長が証明し厳封したもの)	全領域
<ul style="list-style-type: none">高等学校の第1学年から第3学年第1学期(または前期)、または中等教育学校の第4学年から第6学年第1学期(または前期)までのもの(既卒者は高校卒業後に発行されたもの)。※高等学校または中等教育学校が2期制のため、出願締切日までに調査書の発行が間に合わない場合は、提出できる日をご連絡いただき、一度、提出できる「調査書」を出願締切日(消印有効)までに提出の上、改めて前期分までを含む「調査書」を試験日前までに提出してください。高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定を含む)合格者の場合は「合格成績証明書」、同合格見込みの者の場合は「合格見込成績証明書」を、「調査書」の代わりに提出してください。別の入試制度で既に「調査書」等を提出済みの場合、「調査書」等の再提出は不要です。この場合、インターネット出願時に「調査書」提出済み欄で「提出済み」を選択してください。	
(4) 志望理由書 (本学所定用紙)	総合文化学部 (10月1・2期・12月期)
<ul style="list-style-type: none">本学公式 Web サイトよりダウンロードして印刷したものを使用してください。「志望理由書」は2ページあります。本人の自筆で、黒のボールペンか黒インクのペンを使用して作成してください。	
(5) 活動記録 (本学所定用紙)	総合文化学部 (10月1・2期・12月期)
<ul style="list-style-type: none">本学公式 Web サイトよりダウンロードして印刷したものを使用してください。「活動記録」は2ページあります。本人の自筆で、黒のボールペンか黒インクのペンを使用して作成してください。活動成果を証明できるもの、参考資料等(コピーでも可)を添付してください。※このほかの注意事項は、活動記録用紙内の「記入方法」欄で確認してください。	
(6) 活動記録・志望理由書 (本学所定用紙)	地球市民学部 (10月1期・12月期)
<ul style="list-style-type: none">本学公式 Web サイトよりダウンロードして印刷したものを使用してください。「活動記録・志望理由書」は2ページあります。本人の自筆で、黒のボールペンか黒インクのペンを使用して作成してください。「活動記録」欄に記入した場合、その活動成果を証明できるもの、参考資料等(コピーでも可)を添付し、活動実績を証明する資料等には、資料番号欄に記入したものと同一番号を付番してください。	
(7) 協力量派遣優遇枠希望・活動記録・志望理由書 (本学所定用紙)	地球市民学部 (10月2期)
<ul style="list-style-type: none">本学公式 Web サイトよりダウンロードして印刷したものを使用してください。「協力量派遣優遇枠希望・活動記録・志望理由書」は2ページあります。本人の自筆で、黒のボールペンか黒インクのペンを使用して作成してください。「活動記録」欄に記入した場合、その活動成果を証明できるもの、参考資料等(コピーでも可)を添付し、活動実績を証明する資料等には、資料番号欄に記入したものと同一番号を付番してください。	

【対象】10月1期(課題図書方式:外国語検定加算型):総合文化学部(国際文化領域)

10月1期(地球市民育成型):地球市民学部

10月2期(英検換算方式):総合文化学部

10月2期(授業体験型):地球市民学部

＜英語検定試験＞

検定試験名(4技能)	証明書の種類
実用英語技能検定(英検)	合格証明書(和文・英文どちらでも可)またはCSEスコア証明書
GTEC(AdvancedまたはCBT)	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
TEAP・TEAP CBT	成績表(OFFICIAL SCORE REPORT)
ケンブリッジ英語検定	合格証明書(認定書)
IELTS(ペーパー版またはコンピューター版)	成績証明書(Test Report Form)
TOEFL iBT*	Official Score Reports および Test Taker Score Report
TOEIC	デジタル公式認定証・公式認定証
TOEIC Bridge	デジタル公式認定証・公式認定証

*TOEFL iBTでは、直送制度により Seisen University DI Code: 0313 を指定し、Official Score Reports の手続きを取るとともに、Test Taker Score Report を出願書類に含め、提出すること。

＜スペイン語検定試験＞ ※総合文化学部(国際文化領域)の加点対象

検定試験名	証明書の種類
スペイン語技能検定(西検)	合格証書または合格証明書
DELE	合格証書

※上記対象以外の志願者の、外国語検定試験の証明書・スコア表等は、「活動記録」として提出してください。

在留資格(「留学」など)を有する場合

外国人留学生など日本国の在留資格(「留学」など)を有する方のみ、追加書類として次のa)～e)の5点を各1通提出してください(日本に在住する志願者本人が経費支弁者となる場合は、f)を加えた6点を提出してください)。

書類	備考
a) 日本国外居住者:居所証明書 日本国内居住者:住民票の写し	原本。市民権等出身国の公的機関が発行するもの 原本。在留資格が明記され、出願前3か月以内に発行されたもの
b) 旅券査証の写し	顔写真のページ
c) 経費支弁書	本学所定用紙(本学公式Webサイトからダウンロード可)
d) 経費支弁者と本人との親族関係を証明する書類	経費支弁者が親族・本人以外の場合にはその続柄を示す書類
e) 預金残高証明書	
f) 預金通帳の写し	日本に在住する志願者本人が経費支弁者となる場合のみ提出。 直近1年間程度のもの。

※提出すべき書類のうち、外国の学校または機関が作成する書類で英語以外の言語で記載されている場合は、大使館または領事館において原本の内容と相違ないことの証明を受けた日本語または英語の訳文を添付してください。

《調査書等の通数についての注意》

●複数日程で出願する場合でも、「調査書」は1通でかまいません。

例)総合型選抜(10月1期)と(10月2期)とを併願する場合

例)総合型選抜(10月1期・2期)と(12月期)とを併願する場合

例)学校推薦型選抜と総合型選抜(12月期)とを併願する場合

※別の入試制度で既に「調査書」等を提出済みの場合、インターネット出願時に「調査書」提出済み欄で「提出済み」を選択してください。

※誤って調査書が未提出の状態、「提出済み」を選択してしまった場合は、志願シートの該当項目に赤字で「未提出」と手書きで修正してください。

4. 入学検定料

(1) 入学検定料の納付

入学検定料：35,000円

インターネットで出願情報登録後に、①クレジットカード、②コンビニエンスストアまたは③金融機関ATM(ペイジー)のいずれかにより、納付していただきます。

【納付期間】

10月1期	9月12日(金)～10月2日(木)
10月2期	9月12日(金)～10月16日(木)
12月期	10月17日(金)～11月28日(金)

【併願割引について】

次の総合型選抜を併願する場合、追加1入試制度ごとに、5,000円で併願できます。

【対象】総合型選抜【10月1期(専願制) / 10月2期(併願制) / 12月期学費免除型・基礎学力1教科方式(併願制)】

【併願割引時の入学検定料について】

- ・10月1期(35,000円) + 10月2期(5,000円) = 40,000円
- ・10月1期(35,000円) + 12月期学費免除型(5,000円) = 40,000円
- ・10月2期: 小論文方式(35,000円) + 10月2期: 英検換算方式(5,000円) = 40,000円
- ・10月2期(35,000円) + 12月期学費免除型(5,000円) = 40,000円
- ・10月1期(35,000円) + 10月2期(5,000円) + 12月期学費免除型(5,000円) = 45,000円

※上述で【対象】としている総合型選抜と学校推薦型選抜の間でも入学検定料を割引く場合があります。

詳しくは、入試課にお問い合わせください。

【入学検定料の返還について】

いったん納付された入学検定料は返還しません。ただし、次の3つの事由のいずれかに該当し、申し出の上で、所定の期日までに所定の手続を取った場合には、返還に応じます(申し出がない場合、返還しません)。

- ①入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
- ②入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願資格を満たしていないなどの理由により、出願が受理されなかった。
- ③入学検定料を誤って二重または過剰に納入した。

(2) お問い合わせ先

〒141-8642 東京都品川区東五反田3丁目16番21号 清泉女子大学 入試課
Tel : 0120-53-5363 / 03-5421-3231 メール : nyushi@seisen-u.ac.jp

◆合格発表・入学手続について

1. 選考結果の通知

次の選考結果通知日に、インターネット出願専用サイトのマイページで選考結果を確認できます。合格者はマイページより所定の用紙をダウンロードし、期日までに手続をお願いします。郵送での個別通知は行いません。

なお、電話、電子メール等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

【選考結果通知日】

10月1期	11月1日(土) 11時
10月2期	
12月期	12月19日(金) 11時

※10月1期(専願制)と2期(併願制)を受験し、両方に合格した場合は、1期(専願型)での合格として扱うため、入学辞退はできません。なお、2期(併願制)で「協力隊派遣優遇枠合格」となった場合、この権利も保持できます。

※10月2期(併願制)で「協力隊派遣優遇枠合格」となり、12月期の学費免除型・基礎学力1教科方式で学費免除合格(特別奨学生合格・奨学生合格)となった場合、協力隊派遣優遇枠と学費免除の両方の権利を保持できます。

2. 入学手続

所定の期間内に学生納付金を納め、かつ入学手続書類を提出することにより、入学手続が完了します。所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を放棄したものとみなします。詳細は、選考結果の通知の際に合格者に交付する『入学手続要項』によります。

(1) 入学手続期間(学生納付金の納付期間)

【10月1期・2期】

第1次	2025(令和7)年11月1日(土)から11月25日(火)まで(締切日の金融機関収納印有効)
第2次	2025(令和7)年11月26日(水)から12月18日(木)まで(締切日の金融機関収納印有効)

【12月期】

第1次	2025(令和7)年12月19日(金)から2026(令和8)年1月9日(金)まで(締切日の金融機関収納印有効)
第2次	2026(令和8)年1月10日(土)から1月26日(月)まで(締切日の金融機関収納印有効)

※第1次入学手続期間内に入学金を、第2次入学手続期間内に授業料・施設費を納付してください。

※第1次入学手続期間内に入学金とともに授業料・施設費を納めることもできます。

※第1次入学手続をせずに、第2次入学手続をすることはできません。

(2) 入学手続要項について

合格者に交付する『入学手続要項』(PDFファイル)に従って、入学手続に必要な情報を登録してください。

3. 学生納付金

2026（令和8）年度入学者の学生納付金は、次のとおりです。

入学手続	種別	納付額			入学手続締切日	
		総合文化学部	地球市民学部			
		日本文化領域 国際文化領域 文化史領域	地域共生領域	ソーシャル デザイン領域		
第1次	入学金	250,000円(全領域共通)			10月期:11月25日(火) 12月期:1月9日(金)	
第2次	全納	授業料	780,000円	830,000円	830,000円	10月期:12月18日(木) 12月期:1月26日(月)
		施設費	340,000円	340,000円	340,000円	
		実習費*	—	—	60,000円	
		計	1,120,000円	1,170,000円	1,230,000円	
	分納 (前期分)	授業料	390,000円	415,000円	415,000円	
		施設費	170,000円	170,000円	170,000円	
		実習費*	—	—	60,000円	
		計	560,000円	585,000円	645,000円	

*実習費：地球市民学部ソーシャルデザイン領域では1年次に、地域共生領域では2年次に実習費（必修科目）として60,000円かかります。

※第1次入学手続期間内に入学金とともに授業料・施設費・実習費を納めることもできます。

※第1次、第2次の入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった場合は、入学資格を失います。

※授業料・施設費については、2回（入学手続時・後期(10月)）に分けて納付することができます。

【4年間の学生納付金】

●総合文化学部

	1年次	2年次	3年次	4年次
入 学 金	250,000円			
授 業 料	780,000円	780,000円	780,000円	780,000円
施 設 費	340,000円	340,000円	340,000円	340,000円
計	1,370,000円	1,120,000円	1,120,000円	1,120,000円

※授業料・施設費については、次表のとおり前期・後期の2回に分けて納付することができます。

◎分割納付の場合

【前期】（入学手続時納付額）

入 学 金	250,000円
授 業 料	390,000円
施 設 費	170,000円
計	810,000円

【後期】（10月納付額）

授 業 料	390,000円
施 設 費	170,000円
計	560,000円

●地球市民学部

	1年次	2年次	3年次	4年次
入 学 金	250,000円			
授 業 料	830,000円	830,000円	830,000円	830,000円
施 設 費	340,000円	340,000円	340,000円	340,000円
実習費 (地域共生)	—	60,000円	—	—
実習費 (ソーシャル)	60,000円	—	—	—
計 (地域共生)	1,420,000円	1,230,000円	1,170,000円	1,170,000円
計 (ソーシャル)	1,480,000円	1,170,000円	1,170,000円	1,170,000円

※ソーシャルデザイン領域では1年次に、地域共生領域では2年次に実習費 (必修科目) として 60,000 円がかかります。

※授業料・施設費については、次表のとおり前期・後期の2回に分けて納付することができます。

◎分割納付の場合

【前期】 (入学手続時納付額)

入 学 金	250,000円
授 業 料	415,000円
施 設 費	170,000円
実習費 (地域共生)	—
実習費 (ソーシャル)	60,000円
計 (地域共生)	835,000円
計 (ソーシャル)	895,000円

【後期】 (10月納付額)

授 業 料	415,000円
施 設 費	170,000円
計	585,000円

※ソーシャルデザイン領域では1年次前期分として、地域共生領域では2年次前期分として実習費 (必修科目) 60,000 円がかかります。

4. 入学辞退

- (1) 専願制の入試で合格した場合、**辞退することはできません。**
 (2) 併願制の入試で合格し、**第1次入学手続後**に、入学辞退する場合には、次のとおりお申し出ください。

第2次入学手続完了前 (授業料・施設費納付前) の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・辞退することが決まり次第、辞退される旨を入試課までお知らせください。 <p><入学辞退連絡先>TEL : 03-5421-3231、メール : nyushi@seisen-u.ac.jp</p>
第2次入学手続完了後 (授業料・施設費納付後) の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、辞退することが決まり次第、辞退される旨を入試課までメールまたは電話でお知らせください。 <p><入学辞退連絡先>TEL : 03-5421-3231、メール : nyushi@seisen-u.ac.jp</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>第2次入学手続完了後に入学を辞退される場合 (*)</u> は、辞退することが決まり次第、本学公式 Web サイトから「入学辞退書 (兼学生納付金返還請求書)」をダウンロードし、必要事項を記入の上、原則として2026年3月10日(火)までに提出してください。所定の手続を済ませた方には、入学金を除く学生納付金を返還いたします。 ・*第1次入学手続時に授業料・施設費も納付された方を含みます。 ・前述の期日以降であっても、2026年3月31日(火)17時(必着)までに「入学辞退書 (兼学生納付金返還請求書)」を提出した場合は、入学金を除く学生納付金の返還に応じていますので、入試課までお申し出ください。 <p><入学辞退書提出先> 〒141-8642 東京都品川区東五反田 3-16-21 清泉女子大学 入試課</p>

注 意 事 項

1. インターネット出願時の志願者情報の入力について

- (1) 氏名・生年月日は、住民票に記載されているものを入力してください。ただし、漢字はJIS第1・2水準以外のものは使用できません。そのような場合は、代替文字を入力してください。
例) 吉→吉、高→高、崎→崎、Ⅱ（ローマ数字）→Ⅱ（アルファベット大文字の^{アイ}Iを2つ）
- (2) 外国籍の者が通称名を用いる場合には、住民票記載の通称名に限ります。
- (3) 志願者の出身高等学校での進路指導の参考としていただくために、個人名を含まない形式で各校別の情報を提供する場合があります。また、個人名を含む情報提供を許可いただいた方については、各校における守秘を前提に、個人名を含めた形式で提供させていただきます。個人名を含めた形式での提供を許可いただける場合は許可を、そうでない場合は不許可を選択してください。
- (4) 高等学校または中等教育学校在学中に何らかの就学上の支援を受けている場合や、健康上の問題等、受験上または入学後に配慮すべきことがある場合には、「備考」欄にできるだけ具体的に入力してください。

2. 入学検定料の振込について

- (1) 入学検定料の納付前に、出願情報の登録内容に誤りがあることに気づいた場合は、出願情報の登録をもう一度やり直してください。その際は、新たな支払い情報を参照して検定料を納付してください。
- (2) クレジット決済の場合は、出願情報登録完了の時点で決済が完了します。

3. 受験票について

- (1) 受験票は、受験票公開日になったら、インターネット出願専用サイト内のマイページよりダウンロードし、受験票を印刷のうえ、試験当日持参してください。
- (2) 受験票公開日時（p.2の出願から合格発表までの流れ【STEP6】参照）になっても確認できない場合は、直ちに入試課（Tel：03-5421-3231）にお問い合わせください。

4. 試験場への入場について

- (1) 試験場の開門は、10月1期・2期は9時、12月期は8時です。
- (2) 試験場入口（正門）で係員に受験票を提示して入構してください。受験票を忘れたり紛失したりした場合は、係員に申し出てください。また、受験票は常に携帯してください。
- (3) 受験者は、構内の案内に従い試験開始時間の20分前までに指定された試験室に入室してください。
- (4) 試験室では、自分の受験番号の座席に着席してください。ただし、口頭試問（面接）控室では座席の指定はありません。
- (5) 試験開始20分経過後に到着した場合は受験を認めません。

5. 所持品について

- (1) 試験中に使用できるものは次のとおりです。

試験中に使用を認めるもの	試験中に使用を認めないもの
<ul style="list-style-type: none"> ・ HB の黒鉛筆、HB 黒芯のシャープペンシル ・ 消しゴム ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く） ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が半別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・携帯音楽プレイヤー・ICレコーダー・パソコン、タブレット、電子辞書、翻訳機など） ・ 下敷き ・ 耳せん ・ 和歌・格言などが記されている鉛筆 ・ カラーペン、色鉛筆、色マーカーペン（蛍光ペンなど）

※総合文化学部対象の10月1期（課題図書方式）では、選考日当日、課題図書の持ち込み可。

ただし、書き込みや付箋がついたものや電子書籍は持ち込み不可。

※地球市民学部対象の10月2期（授業体験型・併願制）の「ゼミ形式による授業」では、筆記用具、参考書、自作のノートなどの持ち込みを可とします。ただし、外部との通信や記録が可能な電子機器類（携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・携帯音楽プレイヤー・ICレコーダー・パソコン、タブレット、電子辞書、翻訳機など）の使用は不可とします。

なお、「授業レポート」において使用できるものは上表のとおりとし、「ゼミ形式による授業」で配付されたレジュメや、メモなども使用できません。

- (2) ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）、ハンカチ、目薬、マスク等は、試験監督の許可を得た上で使用してください。

- (3) 試験当日は、胸や背中等に英文字や地図がプリントされている衣服の着用を禁止します。万一着用している場合は脱衣等を指示する場合がありますので、試験監督の指示に従ってください。
- (4) 受験する試験場は受験番号等によって割り当てられますが、建物、階数などによって教室の大きさや室温等の環境が異なります。また、座席の位置によって「暑い」「寒い」と感じる場合もありますので、体温調節の可能な衣服の着用をお勧めします。試験時間中にコート等を着用してもかまいません。

6. 試験時間中の注意

- (1) 試験室内では、全て試験監督、係員の指示に従ってください。指示に従わない場合および他の受験者に迷惑となる行為があった場合、退出を求めることがあります。
- (2) 受験票は試験監督、係員が見やすいように、机右上に置いてください。
- (3) 受験票のほか、前述の「試験中に使用を認めるもの」以外のものは机の上に置かないでください。
- (4) 携帯電話・スマートフォン等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験中にこれらをかばん等にしまわず、身につけたり手に持っているとな不正行為となることがあります。これらの電子機器類を時計として使用することはできません。教室によっては時計がない場合や見づらい場合がありますので、時計は各自持参してください。
- (5) 試験中、体の具合が悪くなったときは、挙手して試験監督に申し出てください。保健室には看護師が待機していますが、保健室での受験や試験時間の延長は認められません。
- (6) 隣席の受験者の体調不良等による入退室のため、試験監督の指示により、席を立っていただくことがあります。
- (7) 試験時間中に日常生活騒音等（試験監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。試験監督が試験中断の指示をしない限り、解答を続けてください。
- (8) 以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為の疑いがある場合には、試験監督、係員が注意または事情を聴取する場合があります。その際に要した試験時間の延長はできません。不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできません。また、入学検定料は返還されません。
 - ① カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ② 使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
 - ③ 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
 - ④ 志願シートに本人以外の写真をアップロードすること。
 - ⑤ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - ⑥ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン等の電子機器類を身につけていること。
 - ⑦ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン等の電子機器類の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
 - ⑧ 試験監督、係員等の指示に従わないこと。
 - ⑨ 試験終了の合図、または試験監督の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
 - ⑩ 自身を利するような虚偽の申出をすること。
 - ⑪ 試験室等において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑫ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (9) 答案が完成しても、試験が終了するまで途中退室はできません。途中退室した場合は、欠席扱いとなります。試験監督の指示があったから退室してください。

7. 口頭試問（面接）について

- (1) 口頭試問（面接）は、領域別（専攻言語別）・受験番号順に実施します。
- (2) 口頭試問（面接）時間割は筆記試験（小論文、授業レポートまたは基礎学力試験）終了後、各人に配付します。なお、筆記試験を実施しない10月1期「地球市民育成型（専願制）」の場合、受験票公開日（10月8日（水））に本学公式Webサイトに公開しますので、時間割に記載されている集合時間までに来校し、口頭試問（面接）控室で待機してください。
- (3) 口頭試問（面接）時間に変更が生じる場合がありますので、指定時間の20分前には、口頭試問（面接）控室で待機するようにしてください。
- (4) 口頭試問（面接）控室では私語を慎んでください。
- (5) 携帯電話・スマートフォン等の電子機器類は、口頭試問（面接）控室および口頭試問（面接）室に入る前に、必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。これらをかばん等にしまわず、身につけたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。これらの電子機器類を時計として使用することはできません。
- (6) 口頭試問（面接）控室から各口頭試問（面接）室には係員が誘導します。
- (7) 口頭試問（面接）室に移動する際は荷物を携帯してください。口頭試問（面接）終了後に口頭試問（面接）控室へ戻ることはできません。口頭試問（面接）終了後はすみやかに帰宅してください。

8. その他

- (1) 受験者は、全ての試験を受験しなければなりません。
- (2) 大学構外への外出は試験終了まで認められません。試験当日、食堂は営業していませんので、昼食が必要な場合は各自持参してください。
- (3) 選考日当日、受験生以外の入構は出来ません。
- (4) 駐車場および駐輪場は用意しておりませんので、公共の交通機関を利用してください。
- (5) 上履きを持参する必要はありません。
- (6) 試験当日は、必ずこの入試要項を持参し、必要事項を再確認してください。
- (7) 志願者により口頭試問（面接）終了時刻は異なります。口頭試問（面接）は受験番号順に行いますので、志願者が多い場合、終了時刻が遅くなる場合があります。帰宅時の交通機関の出発時刻に制約がある場合は、早めの出願をお勧めします。
- (8) 忘れ物をした場合は、入試課に申し出てください。半年間経過しても持ち主の申出がない場合は処分いたします。
- (9) 出願書類は、いかなる理由があっても、返却いたしません。
- (10) **学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項**
試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により医師等において伝染の恐れがないと認めるときは、この限りではありません（要診断書・事前連絡）。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

各種お知らせ

1. 緊急時の対応と連絡について

交通障害、気象状況、インフルエンザ・新型コロナウイルス等感染症の拡大等により、入学試験実施に影響を及ぼす事態が生じた場合は、対応措置（試験日時の変更を含む）を清泉女子大学公式 Web サイトで随時お知らせします。

清泉女子大学公式 Web サイト ▶ <https://www.seisen-u.ac.jp/>



2. 個人情報の取扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験の実施（出願処理・試験実施）、②合格発表、③入学手続、ならびにこれらに付随する事項を行うために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータを、清泉女子大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。入学者については、当該個人情報および入試成績の一部を、入学後の学生相談・指導に利用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. 学内奨学金制度について

本学では、学業をサポートするために、各種奨学金制度を設け、授業料の援助をはじめ、国外留学生・私費外国人留学生、教職課程履修者への援助を行っています。詳細については、以下をご覧ください。

▶ <https://www.seisen-u.ac.jp/campuslife/about/expense/scholarship.html>



4. 学園募金について

入学後に学園募金の募集を行います（1口5万円）。ただし、本寄付金への応募は任意です。